

申込締切

8/20
(火)

主催：インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究所



文部科学省委託事業
令和6年度現職日本語教師
研修プログラム普及事業



「生活者としての外国人」に対する 日本語教師 【初任】 研修 ～知る・学ぶ・学び合う研修～

2024年8月24日 土 開講

全17回 (8/24-1/25) 全90時間 (ライブ研修+課題)

 ZOOM配信

対象 日本語教師養成講座420時間修了
または日本語教育能力検定試験合格
生活者への活動経験が0~3年程度の方

受講料 20,000円 (税込)

定員 100人



共催

北海道
一般社団法人北海道日本語センター

中国
インターカルト周南公立大学内サテライト

東北
一般社団法人ふくしま多言語フォーラム
蓬莱日本語教室

九州
NPO多文化共生プロジェクト

お問い合わせ

インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究所

〒110-0016 東京都台東区2-20-9

03-5816-5019 WWW.INCUL.COM

担当：谷口



内容

- ・「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」（報告）内の「生活者としての外国人」に対する日本語教師【初任】研修における教育内容の「生活者としての外国人」に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力を養成する。
- ・地域における日本語教育について知見を有する講師陣による多角的な視点から、日本語教師が担う役割、必要な知識、技能、姿勢を学ぶ。また、各地域の課題や実践を学び、共に考える。
- ・「日本語教育の参照枠」及び「生活Can do」を研修の中で学び、教育実践として活用できるようになることを目指す。

日程

★全17回（土曜日）9：30～11：00 11：15～12：45

2024年

〔8月〕 8/24(★10：00～12：00オリエンテーション)

8/31

〔9月〕 9/7、9/14、9/28

〔10月〕 10/5、10/19、10/26

〔11月〕 11/9、11/16、11/30

〔12月〕 12/7、12/14、12/21

2025年

〔1月〕 1/11、1/18、1/25

★1/11と1/18は活動案作りの研修です。

同じ内容になります。

どちらかに出席するようにお願いします。

○全ての研修を録画しますので、欠席した研修は録画で視聴できます。

（グループワークの時間は除く）

★詳しいスケジュールは、HPをご覧ください。

講師

【生活者に関する日本語教育】

西原鈴子（特定非営利活動法人 日本語教育研究所理事長）

伊東祐郎（国際教養大学 専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 日本語教育実践領域 特任教授）

加藤早苗（インターカルト日本語教員養成研究所所長）

【地域のICT】

山田智久（西南学院大学外国語学部 学部長）

【多文化共生】

新居みどり（特定非営利活動法人 国際活動市民中心（CINGA）コーディネーター）

矢崎理恵（社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター）

【地域日本語教育 1】

萬浪絵理（特定非営利活動法人 国際活動市民中心（CINGA） 理事・日本語教育コーディネーター
千葉市国際交流協会 地域日本語教育の体制づくり推進事業総括コーディネーター）

関崎友愛（日本語サービスYOU&I代表、国際交流基金日本語国際センター 客員講師、埼玉県地域日本語教育コーディネーター）

仙田武司（公益財団法人しまね国際センター 事務局次長）

渡辺唯広（株式会社凡人社 編集部編集長）

大橋由希（株式会社凡人社 編集部主任）

【地域日本語教育 2】

大井裕子（一般社団法人北海道日本語センター理事）

阿部仁美（一般社団法人北海道日本語センター理事）

幕田順子（一般社団法人ふくしま多言語フォーラム理事）

佐々木千賀子（蓬萊日本語教室 副代表）

深江新太郎（NPO多文化共生プロジェクト代表、福岡県・地域日本語教育コーディネーター

福岡市・地域日本語教育施策アドバイザー）

QRコードより
お申込みください



申込み締切：2024年8月20日（火）

★希望者多数の場合は先着順となります。

令和6年度文化庁普及事業「生活者としての外国人」に対する日本語教師【初任】研修 スケジュール

★土曜日

ZOOMでのオンライン配信

日本語教師【初任】研修					
生活者に関する日本語教育					
1	8月24日	10:00～12:00	オリエンテーション		
2	8月31日	9:30～11:00 11:15～12:45	日本語教育を取り巻く現状と変化	西原鈴子	特定非営利活動法人 日本語教育研究所 理事長
3	9月7日	9:30～11:00 11:15～12:45	地域の日本語教室における日本語教師の役割	伊東祐郎	国際教養大学 専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 日本語教育実践領域 特任教授
4	9月14日	9:30～11:00 11:15～12:45	地域での活動における「日本語教育の参照枠」	加藤早苗	インターカルト日本語教員養成研究所 所長
地域日本語教育Ⅰ					
5	9月28日	9:30～11:00 11:15～12:45	「生活者としての外国人」のための教材・教具のリソースと著作権	渡辺唯広 大橋由希	凡人社 編集部編集長 凡人社 編集部主任
6	10月5日	9:30～11:00 11:15～12:45	「生活者」に関わる日本語教師の姿勢～学習活動から考える～	萬浪絵理	特定非営利活動法人 国際活動市民中心 (CINGA) 理事・日本語教育コーディネーター 千葉市国際交流協会 地域日本語教育の体制づくり推進事業総括 コーディネーター
7	10月19日	9:30～11:00 11:15～12:45	「外国人保護者の言語課題（子育ての日本語） ー生活Can doを活用した教室活動を考えるー」	関崎友愛	日本語サービスYOU&I 代表 国際交流基金日本語国際センター 客員講師 埼玉県地域日本語教育コーディネーター
8	10月26日	9:30～11:00 11:15～12:45	「生活Can doをベースにしたカリキュラム開発について ～（島根）の事例～」	仙田武司	(公財) しまね国際センター 事務局次長
地域の事例研究					
9	11月9日	9:30～11:00 11:15～12:45	北海道の取組み 「北海道における日本語学習支援の取組み」	大井裕子 阿部仁美	一般社団法人北海道日本語センター 理事 一般社団法人北海道日本語センター 理事
10	11月16日	9:30～11:00 11:15～12:45	東北の取組み 「地域とつながる日本語教室の実践～消防署の活用～」	幕田順子 佐々木千賀子	一般社団法人ふくしま多言語フォーラム 理事 蓬萊日本語教室 副代表
11	11月30日	9:30～11:00 11:15～12:45	九州の取組み 「日本語教室の可能性を切り拓く福岡モデルとは」	深江新太郎	NPO多文化共生プロジェクト 代表 福岡県・地域日本語教育コーディネーター 福岡市・地域日本語教育施策アドバイザー
地域のICT					
12	12月7日	9:30～11:00 11:15～12:45	日本語教育におけるICTの活用と日本語教師の役割	山田智久	西南学院大学外国語学部 学部長
多文化共生					
13	12月14日	9:30～11:00 11:15～12:45	難民への日本語教育 ～さぼうと21での実践から～	矢崎理恵	社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター
14	12月21日	9:30～11:00 11:15～12:45	「多文化共生と生活者支援における 日本語教師の役割～CINGAでの実践から～」	新居みどり	特定非営利活動法人 国際活動市民中心 (CINGA) コーディネーター
地域日本語教育Ⅱ					
15	1月11日	9:30～11:00 11:15～12:45	「日本語教育の参照枠」と「生活Cando」 を取り入れた地域の実情に即した活動案を考える①	内藤真穂 森友理	インターカルト日本語学校 講師
16	1月18日	9:30～11:00 11:15～12:45	「日本語教育の参照枠」と「生活Cando」 を取り入れた地域の実情に即した活動案を考える①	内藤真穂 森友理	インターカルト日本語学校 講師
17	1月25日	9:30～11:00 11:15～12:45	「日本語教育の参照枠」と「生活Cando」 を取り入れた地域の実情に即した活動案を考える② 共有・まとめ	内藤真穂 森友理 加藤早苗	インターカルト日本語学校 講師 インターカルト日本語教員養成研究所 所長